

平成28年度 施策評価シート

基本目標	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる	
政策	120	特色ある、多彩な魅力や個性を発信する
施策	121	すみだの魅力を広め、もてなしの心でまちに人を集める
施策の目標	新しい魅力を持った観光地や名産品を楽しむために、これまで以上に多くの人々が「すみだ」を訪れて、快適に過ごしています。	

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
受講者の満足度(セミナー前期・後期)とても満足・満足の割合	%	84.3	82.5	82.6	85.1	79.4
すみだ地域学セミナー受講者数	人	2,265	2,007	1,879	1,884	1,812

3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<p>受講者の満足度について高い水準を維持しており、また、リピーターも多く「すみだ」の魅力を多くの区民等に伝える事業として定着している。一方、若年層の受講者の増加や事業のマンネリ化を防止するため、今後もタイムリーなテーマの設定や体験型など講義形式以外のセミナー実施が求められている。</p>

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性(選択肢に を付ける)
<input type="checkbox"/> (1) 優先的に資源投入を図る。
<input checked="" type="checkbox"/> (2) 現状維持とする。
<input type="checkbox"/> (3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
<input type="checkbox"/> (4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】
毎年多くの区民等が受講していることに加え、受講者の満足度も高い水準を維持している。
【今後の具体的な方針】
今後も受託事業者と連携し、タイムリーな企画の講座を開催することにより事業のマンネリ化を防止する。

5 部内各課で実施しているこの施策に係る事務事業

(単位：千円)

番号	事務事業名	課 名	27年度	事務事業評価 シートの評価結果	部長コメント
			歳出決算額		
1	すみだ地域学セミナー	生涯学習課	8,031	現状維持	

【評価結果】

拡充：効果が高く、拡充による更なる効果拡大も期待できる。

現状維持：効果は高いが、拡充しても効果拡大までは期待できない。

改善・見直し：手段の見直しで効果を拡大する必要がある。

縮小・統合：効果は高くないが、継続する理由がある。

休止、廃止：効果は高くなく、継続する客観的な理由に乏しい。

平成28年度 事務事業評価シート

整理番号 1

作成年月日: 平成28年6月22日

事務事業名	すみだ地域学セミナー事業		所管課・係	生涯学習課・生涯学習担当
施策	121	すみだの魅力を広め、もてなしの心でまちに人を集める	連絡先	5608-6309
予算書名称	すみだ地域学セミナー事業費		執行実績報告書ページ	190

1 事業の概要

区民がすみだの地域を再認識するとともに、東京スカイツリーの開業に伴い、すみだの地を訪れる多くの人々に「おもてなしの心」を発揮できるように、すみだに関する講座の開講、情報紙の発行を行っている。平成25年度から、NPO法人すみだ学習ガーデンに講座開講の企画・運営を委託している。	事業開始年度	平成19年度
	終了予定年度	

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
子ども(小学生・中学生)から成人までの区民					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
すみだの地域に関わるセミナーの開催及び、情報紙の発行					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
すみだの地域を再認識し、本区についての知識や情報を来街者に伝え、おもてなしの心で接していたり、自分のまちに対し誇りや関心を持っている					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	受講者数(前期・後期セミナー、特別講座、英語講座、地域講座)		人	目標値	2000	2000	2000
				実績値	1,879	1,884	1,812
成果指標 (目的に対する指標)	受講者の満足度(前期・後期セミナー)とても満足・満足		%	目標値	80	80	80
				実績値	83	85	79
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
受講者の満足度について、高い水準を維持しており、リピーターも多いことから、すみだの魅力を伝える事業として定着している。全体的に若年層の受講者が少ないが、親子を対象とした特別講座を開催したり、フェイスブックやツイッターでお知らせをしたり、様々な年代が受講できるよう、内容等の工夫を重ねている。							

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	教育費	項	生涯学習費	目	生涯学習総務費	
27年度歳出予算額	8,368	27年度歳出決算額	8,031	27年度執行率	96.0%	28年度歳出予算額	8,908
27財源内訳(決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 有	一般財源 有			
使用料等の収入の有無	有	使用料等名称	講座等参加者負担金			収入額	161
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの							
27年度実績額		28年度予算額		対象			
開始年度		根拠法令					
算定基準				補助率			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価	どちらかといえば必要
<p>毎年多くの区民が参加しており、事業として安定している。応募が募集を上回る講座も多い、また、北斎美術館の開館に向けて北斎関連の講座を実施したり、東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた内容で英語講座を行ったりと、タイムリーな内容での開催に努めている。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
<p>受講者数、満足度ともに、高い水準を維持している。また、受講生は、リピーターと新規受講者が相半ばし、少しずつ広がっている。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>NPO法人への委託開始と同時に、受益者負担の観点から、受講料の徴収も導入した。</p>				
(4)現状と課題	<p>毎年、多くの区民が受講しているが、すみだについての様々なことを学んだ区民が活躍できる場の提供について、関係部署との連携が必要である。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	毎年多くの区民等が受講している安定した事業であり、受講者の満足度も高い値を維持している。
今後の方向性 (見直しの視点)	<p>今後もタイムリーな内容の企画を取り入れ、委託事業者と連携を取りつつ事業のマンネリ化防止に努める。</p>		

平成27年度区議会の質問状況	時期	予算特別委員会(教育費 28年3月)
	要旨	事業実施から10周年を迎えるにあたる今後の事業展開について